



見やすいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。

セゾン資産形成の達人ファンド

■当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	無期限
運用方針	一貫した「長期投資」という投資哲学に基づいて運用されているファンドへの投資を通じて、長期的な資産の成長を図ります。投資にあたっては、国内外の投資信託証券の中から、資産規模、運用実績、コストなどの面ならびにファンドの運用方針、投資態度をリサーチの上、投資を行います。 原則として、為替ヘッジは行いません。
主要運用対象	有価証券に投資する国内外の投資信託証券を投資対象とします。
組入制限	①外貨建資産への投資には制限を設けません。 ②投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ③投資信託証券ならびに短期金融資産以外の有価証券への直接投資は行いません。 ④デリバティブの直接利用は行いません。 ⑤一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスボージャー、債券等エクスボージャーおよびデリバティブ取引等エクスボージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。
分配方針	毎決算時に、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わないこともあります。 信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき運用を行います。当ファンドは、分配金再投資専用とします。収益分配金は、税金を差し引いた後、再投資されます。

運用報告書(全体版)

第19期(決算日 2025年12月10日)

受益者の皆さまへ

平素は「セゾン資産形成の達人ファンド」に格別のご愛顧を賜り、厚く御礼を申し上げます。

この度、第19期決算を行いましたので、当期の運用状況をご報告いたします。

当期間も信託財産の長期的な成長を図ることを目的とした運用を、変わらずに行って参りましたことを併せてご報告申し上げます。

今後も、皆さまの長期資産形成のお役に立てるよう、引き続き努めて参りますので、より一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

いそがないで歩こう。



セゾン投信

お問い合わせ先

セゾン投信株式会社 お客様窓口

〒170-6048 東京都豊島区東池袋3-1-1

[ホームページ] <https://www.saison-am.co.jp>

[電話番号] 03-3988-8668

[営業時間] 9:00~17:00 (土日祝日、年末年始を除く)

運用担当者の紹介

執行役員、マルチマネージャー運用部長、ポートフォリオマネージャー

瀬下 哲雄 (SESHIMO Tetsuo)

主な役割

投資戦略の策定、具体的投資方針の策定

運用経験年数

19年

投資に対する考え方

景気や市場動向の予想に頼らず、
一貫した姿勢で投資を行うことが成果につながる



経歴

1996年 上智大学経済学部経営学科卒業

2006年 セゾン投信入社

2007年 セゾン・グローバルバランスファンド、セゾン資産形成の達人ファンド設定時より運用を担当

2011年 ポートフォリオマネージャー 就任(現職)

2014年 運用部長 就任

2021年 マルチマネージャー運用部長 就任(現職)

2024年 執行役員 就任(現職)

セゾン資産形成の達人ファンドは、ファンド・オブ・ファンズの仕組みを活用して、厳選したアクティブファンドへの投資を行うことにより、受益者の皆さまの長期の資産形成に資することができるよう、不確実な市場の予想に頼ることなく、長期的なリターンと幅広い分散によるリスクの軽減を重視して、チームで運用を行っています。

◎受賞実績



「R&Iファンド大賞2025」12年連続 受賞

優秀ファンド賞 部門：投資信託10年 カテゴリー：外国株式コア



「LSEG リッパー・ファンド・アワード・ジャパン2025」11年連続 受賞

最優秀ファンド賞 部門：投資信託部門 評価期間：10年

リッパー分類：ミックスアセット 日本円 フレキシブル型

最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指數	為替レート	投資信託								投資証券組入比率	米国オポチュニティ	AB米国株式集中	BBH・コア・セレクト	FSSAアジア	Vontobelmtx エマージング	SIグローバルエマージング	Vontobel米国株式	純資産総額
	(分配額)	税込み分配金			期中騰落率	米ドル(円)	コムジェスト組入比率	コムジェスト・ヨーロッパ	コムジェスト・エマージング	スパークス・集中投資	スパークス・長期戻選	コムジェスト日本株式									
第15期 2021年12月10日	円 32,402	円 -	% 23.3	% 29,030	% 30.9	113.47	% 48.8	% 26.8	% 10.5	% 2.9	% 4.4	% 4.3	% 49.4	% 21.4	% 10.0	% 8.0	% -	% -	% -	% -	百万円 185,489
第16期 2022年12月12日	円 31,475	円 -	% △2.9	% 29,668	% 2.2	136.76	% 43.1	% 26.4	% 5.0	% 3.0	% 4.4	% 4.5	% 55.1	% 21.3	% 9.5	% 9.6	% 10.8	% 3.9	% -	% -	百万円 215,903
第17期 2023年12月11日	円 36,838	円 -	% 17.0	% 36,196	% 22.0	145.40	% 41.4	% 25.7	% 4.0	% 2.8	% 4.4	% 4.3	% 56.9	% 21.9	% 10.1	% 10.2	% 11.1	% 3.7	% -	% -	百万円 280,280
第18期 2024年12月10日	円 44,473	円 -	% 20.7	% 48,304	% 33.4	151.54	% 39.3	% 23.3	% 3.5	% 3.7	% 4.8	% 4.0	% 59.0	% 21.3	% 9.3	% 9.2	% 10.9	% 3.5	% 2.4	% 2.3	362,037
第19期 2025年12月10日	円 51,024	円 -	% 14.7	% 58,787	% 21.7	156.88	% 42.1	% 24.2	% 5.4	% 4.0	% 4.4	% 4.1	% 56.1	% 23.0	% 2.9	% 8.7	% 10.3	% 4.1	% -	% 7.0	433,738

- ・基準価額は1万口当たりです。
- ・当ファンドにはベンチマークがないため、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指標のMSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス(配当込)を参考指標として記載しております。参考指数は、設定日(2007年3月15日)の値を10,000として委託会社が計算したものです。
- ・参考指標は、基準価額への反映を考慮して、2営業日前のものに、当日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値を利用して円換算しております。
- ・騰落率は、小数点以下第1位未満を四捨五入しております。
- ・組入比率は、対純資産総額です。組入比率は、小数点以下第1位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。
- ・為替レート(米ドル(円))は、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を利用しています。
- ・純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		参考指數	投資信託 受益証券組入比率	投資信託 コムジェスト・ヨーロッパ コムジェスト・エマージング スパークス・集中投資 スパークス・長期戻選 コムジェスト日本株式								投資証券組入比率	米国オポチュニティ	AB米国株式集中	BBH・コア・セレクト	FSSAアジア	Vontobelmtx エマージング	SIグローバルエマージング	Vontobel米国株式
	騰落率	騰落率			期中騰落率	米ドル(円)	コムジェスト・ヨーロッпа	コムジェスト・エマージング	スパークス・集中投資	スパークス・長期戻選	コムジェスト日本株式	スパークス・集中投資	スパークス・長期戻選	コムジェスト日本株式						
(期首) 2024年12月10日	円 44,473	% -	% 48,304	% -	% 39.3	23.3	3.5	3.7	4.8	4.0	59.0	% 21.3	% 9.3	% 9.2	% 10.9	% 3.5	% 2.4	% 2.3		
12月末	円 45,109	% 1.4	% 49,460	% 2.4	% 39.0	23.2	3.5	3.7	4.6	4.0	59.2	% 21.6	% 9.1	% 9.2	% 10.9	% 3.6	% 2.5	% 2.3		
2025年1月末	円 44,995	% 1.2	% 48,945	% 1.3	% 39.9	24.2	3.5	3.7	4.5	3.9	58.5	% 21.3	% 9.1	% 9.3	% 10.2	% 3.5	% 2.6	% 2.4		
2月末	円 43,576	% △2.0	% 47,591	% △1.5	% 40.3	24.7	3.5	3.7	4.5	3.9	57.8	% 20.9	% 8.7	% 9.1	% 10.5	% 3.7	% 2.6	% 2.5		
3月末	円 42,404	% △4.7	% 46,220	% △4.3	% 40.7	24.6	3.6	3.9	4.6	4.0	57.4	% 20.0	% 8.6	% 8.9	% 10.7	% 3.7	% 2.9	% 2.5		
4月末	円 40,327	% △9.3	% 43,348	% △10.3	% 41.5	25.2	3.7	4.0	4.5	4.1	56.9	% 19.4	% 8.8	% 8.8	% 10.5	% 3.7	% 3.1	% 2.6		
5月末	円 42,823	% △3.7	% 46,476	% △3.8	% 41.0	24.5	3.7	4.0	4.6	4.2	57.1	% 19.6	% 8.7	% 8.7	% 10.5	% 3.7	% 3.1	% 2.7		
6月末	円 44,014	% △1.0	% 48,628	% 0.7	% 40.1	23.8	3.7	3.9	4.5	4.2	58.1	% 20.3	% 8.7	% 8.9	% 10.4	% 3.8	% 3.2	% 2.8		
7月末	円 45,832	% 3.1	% 51,671	% 7.0	% 39.2	23.3	3.6	3.9	4.3	4.0	58.9	% 20.7	% 8.9	% 9.0	% 10.5	% 3.9	% 3.1	% 2.8		
8月末	円 45,820	% 3.0	% 51,830	% 7.3	% 39.4	22.7	3.7	4.2	4.6	4.2	58.8	% 21.0	% 8.7	% 8.9	% 10.4	% 3.9	% 3.1	% 2.8		
9月末	円 47,205	% 6.1	% 53,904	% 11.6	% 38.6	22.0	3.8	4.1	4.5	4.1	59.6	% 21.7	% 8.5	% 8.9	% 10.6	% 4.1	% 3.1	% 2.8		
10月末	円 50,177	% 12.8	% 58,005	% 20.1	% 38.4	22.1	3.9	3.8	4.4	4.1	59.9	% 22.5	% 8.2	% 8.7	% 10.5	% 4.1	% 3.2	% 2.8		
11月末	円 50,526	% 13.6	% 58,207	% 20.5	% 40.1	23.2	4.5	4.1	4.4	4.0	58.0	% 22.7	% 3.0	% 8.7	% 10.4	% 4.1	% 2.1	% 7.1		
(期末) 2025年12月10日	円 51,024	% 14.7	% 58,787	% 21.7	% 42.1	24.2	5.4	4.0	4.4	4.1	56.1	% 23.0	% 2.9	% 8.7	% 10.3	% 4.1	% -	% 7.0		

- ・騰落率は、期首比です。
- ・組入比率は、小数点以下第1位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

当期の運用状況と今後の運用方針

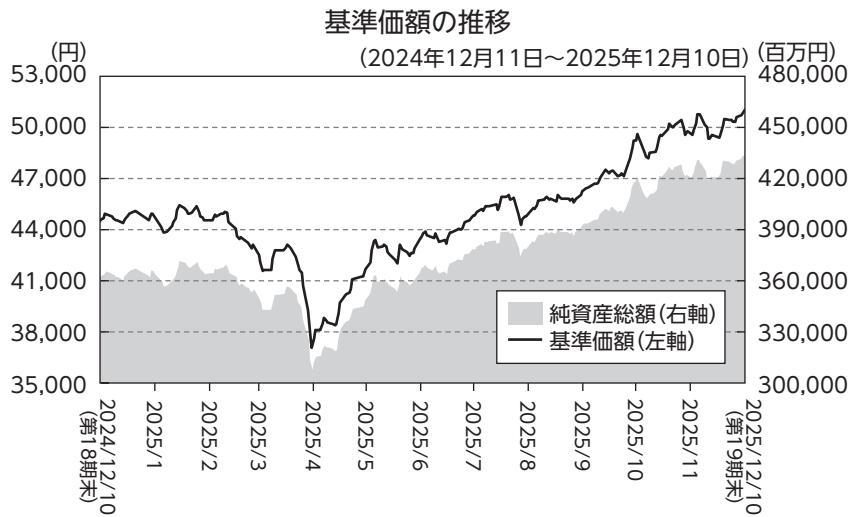
期中の基準価額等の推移

当ファンドの第19期(2024年12月11日～2025年12月10日)の年次運用状況をご報告いたします。

当期の基準価額の推移は、2025年4月9日に37,054円の最安値を、2025年12月10日に51,024円の最高値を付け、当期末の基準価額は51,024円でした。設定から当期末までの基準価額の騰落率は410.2%、当期の騰落率は14.7%でした。

【基準価額のハイライト】

	基準価額	日付
安 値	37,054円	2025年4月9日
高 値	51,024円	2025年12月10日



- ・当ファンドには、ベンチマークはありません。
- ・分配を行っていないため、分配金再投資基準価額は表示しておりません。
- ・表示されている基準価額が、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものとなります。
- ・上記騰落率は、小数点以下第1位未満を四捨五入して表示しております。

【基準価額の主な変動要因】

当期は、一部を除く株式ファンドの上昇と対ドルでの円安が基準価額の上昇要因となりました。投資先の株式ファンドの中では、米国の株式に投資する「バンガード 米国オポチュニティファンド」が基準価額の上昇に大きく貢献しました。

参考指数やベンチマークとの対比では、「バンガード 米国オポチュニティファンド」、「フォントベル・ファンド-mtxエマージング・マーケット・リーダーズ」が銘柄選択効果により参考指数を上回りましたが、上記以外のファンドは、銘柄選択の影響により参考指数やベンチマークを下回りました。

< 基準価額のプラス要因 >

バンガード 米国オポチュニティファンド (米ドル)
対ドルでの為替レート (円安)
FSSA アジア・パシフィック株式ファンド (米ドル)
フォントベル・ファンド-mtx エマージング・マーケット・リーダーズ (米ドル)
コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド 80 (適格機関投資家限定) (円)
コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド 90 (適格機関投資家限定) (円)
スパークス・集中投資・日本株ファンド S (適格機関投資家限定) (円)
コムジェスト日本株式ファンド (適格機関投資家限定) (円)
BBH・ルクセンブルグ・ファンズ-BBH・コア・セレクト (米ドル)
スパークス・長期厳選・日本株ファンド (適格機関投資家限定) (円)
フォントベル・ファンド-US エクイティーオリティ・グロース (米ドル)
スチュワート・インベスターーズ・グローバル・エマージング・マーケット・オールキャップ・ファンド (米ドル)

*1: 2025年12月5日に組み入れ終了

期中騰落率

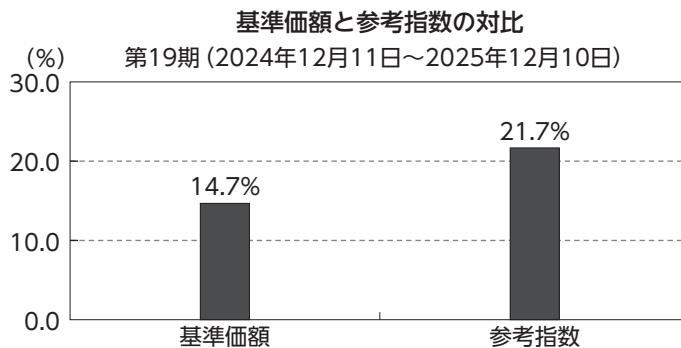
14.7%

アライアンス・バーンスタン S|CAV-コンセントレイテッド US エクイティ・ポートフォリオ (米ドル)

< 基準価額のマイナス要因 >

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の当期の騰落率の対比です。



- 当ファンドにはベンチマークがないため、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数のMSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス(配当込)を参考指数として記載しております。
- 参考指数は、基準価額への反映を考慮して、2営業日前のものに、当日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値を利用して円換算しております。

当ファンドの運用経過と結果

当期も引き続き、長期の成果だけに焦点をあて、投資先ファンドを通じて個別銘柄の価値を見極めながら、株式への投資比率を高位に保ち、幅広く国際分散投資を行いました。

当期は、12月と3月に新興国・太平洋地域へ投資するファンドの目標投資比率を変更し、2024年11月にリードポートフォリオマネージャーが交代した「FSSAアジア・パシフィック株式ファンド」の目標投資比率を徐々に引き下げ、前期に組み入れを開始した「スチュワート・インベスターーズ・グローバル・エマージング・マーケット・オールキャップ・ファンド」、追加調査により信頼度が高まった「コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90」、「フォントベル・ファンド-mtxエマージング・マーケット・リーダーズ」の目標投資比率を引き上げました。5月には、前期に組み入れを開始した「フォントベル・ファンド-USエクイティーオリティ・グロース」への目標投資比率を引き上げ、ごく一部ではあるものの短期的なパフォーマンスを意識する動きが見られた「アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ」への目標投資比率を引き下げました。11月には追加調査により信頼度が高まった「フォントベル・ファンド-USエクイティーオリティ・グロース」の目標投資比率を引き上げ、「アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ」の目標投資比率を引き下げるとともに、一部入れ替えを行いました。また、11月14日に「スチュワート・インベスターーズ・グローバル・エマージング・マーケット・オールキャップ・ファンド」の運用責任がスチュワート・インベスターーズから、同じファースト・センティア・グループ傘下のFSSAインベストマネージャーズへ移管されたことを受けて、同ファンドを全額売却することとし、運用体制の強化により信頼度が高まった「コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90」の投資比率を引き上げて、入れ替えを行いました。なお、11月のファンドの入れ替えの際の売却代金の一部を目標投資比率との乖離が大きくなっていた「コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80」の購入代金に充当しました。

上記以外では、投資比率が目標投資比率を上回っていたファンドを一部売却したほかは、積立などでのご購入により皆さまからお預かりした資金を利用して、目標投資比率を引き上げたファンド、相対的に値動きが振るわなかつことにより投資比率が目標投資比率を下回ったファンドを中心に購入を行いました。

2024年3月に組み入れを開始した「スチュワート・インベスターーズ・グローバル・エマージング・マーケット・オールキャップ・ファンド」は、当ファンドの投資対象ファンドのなかでも投資の時間軸が相対的に長いファンドで、直近のパフォーマンスは振るわないものの、長期的には良好なパフォーマンスを得ることができると判断して、徐々に投資比率を引き上げていましたが、ファースト・センティア・グループのビジネス上の判断により、投資を継続できなくなつたことに失望しています。しかし、売却代金の一部を、直近のパフォーマンスが振るわなかつた信頼度の高いファンドへの投資に振り替えたため、全体への影響は限定的だと認識しています。

今期は、5月の途中までは参考指数よりも堅調に推移する局面がありましたが、その後の上昇局面では参考指数の上昇率を下回り、5期連続で参考指数の騰落率を下回る結果となりました。

投資環境

【株式市場の概況】

株式市場は上昇しました。

景気の先行きに対する楽観的な見方が維持されるなかで全般的に上昇し、なかでも人工知能(AI)関連投資の拡大やAIの普及に伴う生産性の向上や収益拡大への期待が高まったことを受けて、情報技術セクターやコミュニケーションセクターが大きく上昇したほか、金融セクターも大きく上昇しました。

地域別では、米国でAIに対する期待が高まったことを背景に情報技術セクターやコミュニケーションセクターが上昇し、欧州では景気の先行きに対する悲観的な見方が後退したことや、防衛費の拡大観測が高まったことを背景に金融セクターや資本財・サービスセクターが上昇しました。日本ではAI関連投資の拡大期待が高まったことや、防衛費の拡大観測が高まったことを背景に情報技術セクターや資本財・サービスセクターが上昇し、新興国は、AI関連投資の拡大期待が高まったことを受けて、情報技術セクターが上昇しました。

期の初めから3月頃までは、トランプ米大統領による関税などの経済対策を巡る懸念を背景に、軟調な展開となりました。4月はトランプ米大統領が相互関税と呼ぶ、大規模な関税措置を発表したことを見て、景気減速や長期的な経済成長率の低下への不安が広がって下落しました。その後は、トランプ米大統領が関税措置の全面的な実施を先送りし、他国・地域との交渉を行う方針を示したことを見て反発し、5月は米国と中国が関税率の引き下げで合意したことを見て、安心感が広がって上昇しました。6月はイランとイスラエルの軍事衝突が発生し、中東情勢が緊迫化して下落する局面はあったものの、7月は日本や欧州連合(EU)が米国と関税措置を巡る交渉で合意したことを見て、先行きへの不透明感が和らいで上昇しました。8月は米国で労働市場の弱さが確認されて、景気の先行きに対する懸念が高まったものの、同時に政策金利の引き下げ観測が高まって上昇しました。9月はAI関連投資の拡大期待が高まったことを受けて上昇しました。10月は米国で一部の政府機関が閉鎖され、不透明感が高まったものの、米国と中国の貿易摩擦の激化懸念が後退したことを見て上昇しました。11月はハイテク関連株式の過熱への警戒が高まるなかで、AI関連投資の収益化に対する懐疑的な見方が広がって下落する局面があったものの、その後は米国で政策金利の引き下げ観測が高まったことを受けて上昇しました。

【為替市場の概況】

円は下落し、対ドル対ユーロで円安となりました。

米国で景気の先行きに対する楽観的な見方が後退して、政策金利の引き下げ観測が高まったことや政治的な混乱への警戒が高まったことを受けてドルが下落し、景気の先行きに対する悲観的な見方が後退し、政策金利の引き下げ観測が後退したユーロが上昇しました。円は、1月に政策金利が引き上げられたものの、引き続き金利の高い通貨を選好する動きが続くなじで、日本銀行が慎重に政策金利の引き上げを行うとの見方が強まることや、政府支出の拡大による財政赤字の拡大観測が高まったことを受けて、ドルに対しても下落しました。

期の初めは、米国やユーロ圏で政策金利が引き下げられたものの、今後の政策金利の引き下げペースが緩やかになるとの見方が広がってドルとユーロが上昇し、日本銀行が政策金利の引き上げを慎重に行うとの見方が強まつて円が下落して、対ドル対ユーロで円安となりました。1月から2月は日本で政策金利の引き上げ観測が高まるなかで、米国で景気の先行きに対する楽観的な見方が後退したことを見て円が上昇して、対ドル対ユーロで円高となりました。3月は欧州で景気の先行きに対する悲観的な見方が後退してユーロが上昇し、対ユーロで円安となりました。4月はトランプ米大統領が相互関税と呼ぶ、大規模な関税措置を打ち出したことを受けて、米国景気の先行きに対する楽観的な見方が後退してドルが下落し、対ドルで円高となりました。6月はユーロ圏で政策金利の引き下げ観測が後退したことを見てユーロが上昇し、対ユーロで円安となりました。7月は米国で景気の先行きに対する明るい見方が広がったことを受けてドルが上昇して円が下落し、対ドルで円安となりました。8月は米国で政策金利の引き下げ観測が高まってドルが下落し、対ドルで円高となりました。10月は日本で政策金利の引き上げ観測が後退したことを見て円が下落し、対ドル対ユーロで円安となりました。11月は、日本で財政赤字の拡大観測が高まって円が下落し、対ドル対ユーロで円安となりました。12月は、日本で政策金利の引き上げ観測が高まったものの、ドルやユーロとの金利差が大きな状況が続くとの見方を背景に円は下落し、対ドル対ユーロで円安となりました。

組入ファンドと為替レートの動き

バンガード 米国オポチュニティファンド(米ドル建て)

バンガード 米国オポチュニティファンドの当期の騰落率^{*1}は26.16%でした。対応する期間^{*2}のベンチマークであるラッセル3000種指数(配当込・税引後)の騰落率は12.18%でした。

*1 当ファンドの基準価額の算定はバンガード 米国オポチュニティファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、バンガード 米国オポチュニティファンドの騰落率は当ファンドの計算期間における2営業日前のものを利用しています。

*2 バンガード 米国オポチュニティファンドの評価額は当日の市場の終値を基に算出することとなっておりますので、ラッセル3000種指数(配当込・税引後)の騰落率は当ファンドの計算期間における2営業日前のものを利用しています。



アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ(米ドル建て)

アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオの当期の騰落率^{*1}は△1.18%でした。対応する期間^{*2}のベンチマークであるS&P500指数(配当込・税引後)の騰落率は14.03%でした。

*1 当ファンドの基準価額の算定はアライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオの前営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオの騰落率は当ファンドの計算期間における1営業日前のものを利用しています。

*2 アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオの評価額は当日の市場の終値を基に算出することとなっておりますので、S&P500指数(配当込・税引後)の騰落率は当ファンドでの計算期間における1営業日前のものを利用しています。



BBH・ルクセンブルグ・ファンズ-BBH・コア・セレクト(米ドル建て)

BBH・ルクセンブルグ・ファンズ-BBH・コア・セレクトの当期の騰落率^{*1}は8.15%でした。対応する期間^{*2}のS&P500指数(配当込)の騰落率は14.47%でした。

*1 当ファンドの基準価額の算定はBBH・ルクセンブルグ・ファンズ-BBH・コア・セレクトの前営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、BBH・ルクセンブルグ・ファンズ-BBH・コア・セレクトの騰落率は当ファンドの計算期間における1営業日前のものを利用しています。

*2 BBH・ルクセンブルグ・ファンズ-BBH・コア・セレクトの評価額は当日の市場の終値を基に算出することとなっておりますので、S&P500指数(配当込・税引後)の騰落率は当ファンドの計算期間における1営業日前のものを利用しています。



FSSAアジア・パシフィック株式ファンド(米ドル建て)

FSSAアジア・パシフィック株式ファンドの当期の騰落率^{*1}は13.17%でした。対応する期間^{*2}のベンチマークであるMSCIアジア・パシフィック・エックスジャパン・インデックス(配当込・税引後)の騰落率は22.53%でした。

* 1 当ファンドの基準価額の算定はFSSAアジア・パシフィック株式ファンドの前営業日の評価額を基に行う仕組みとなっており、FSSAアジア・パシフィック株式ファンドの騰落率は当ファンドの計算期間における1営業日前のものを利用しています。

* 2 FSSAアジア・パシフィック株式ファンドの評価額は当日の市場の終値を基に算出することとなっており、MSCIアジア・パシフィック・エックスジャパン・インデックス(配当込・税引後)の騰落率は当ファンドの計算期間における1営業日前のものを利用しています。

期間中の価格の推移



フォントベル・ファンド-mtxエマージング・マーケット・リーダーズ(米ドル建て)

[旧名称：フォントベル・ファンド-mtxサステナブル・エマージング・マーケット・リーダーズ](米ドル建て)

フォントベル・ファンド-mtxエマージング・マーケット・リーダーズの当期の騰落率^{*1}は31.01%でした。対応する期間^{*2}のベンチマーク^{*}の騰落率は27.92%でした。

* 1 当ファンドの基準価額の算定はフォントベル・ファンド-mtxエマージング・マーケット・リーダーズの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっており、フォントベル・ファンド-mtxサステナブル・エマージング・マーケット・リーダーズの騰落率は当ファンドの計算期間における2営業日前のものを利用しています。

* 2 フォントベル・ファンド-mtxエマージング・マーケット・リーダーズの評価額は当日の市場の終値を基に算出することとなっており、ベンチマークの騰落率は当ファンドの計算期間における2営業日前のものを利用しています。
※当ファンドのベンチマークは、2025年5月6日に「MSCIエマージングマーケット・インデックス(配当込・税引後)」から「MSCIエマージングマーケット・インデックス10/40(配当込・税引後)」に変更となっておりますので、ベンチマークの騰落率は、2つの指標を合成して算出しています。

期間中の価格の推移



スチュワート・インベスターズ・グローバル・エマージング・マーケット・オールキャップ・ファンド(米ドル建て)

スチュワート・インベスターズ・グローバル・エマージング・マーケット・オールキャップ・ファンドの前期末(2024年12月10日)から組み入れ最終日(2025年12月5日)までの騰落率^{*1}は△0.48%でした。対応する期間^{*2}のベンチマークであるMSCIエマージングマーケット・インデックス(配当込・税引後)の騰落率は26.37%でした。

* 1 当ファンドの基準価額の算定はスチュワート・インベスターズ・グローバル・エマージング・マーケット・オールキャップ・ファンドの前営業日の評価額を基に行う仕組みとなっており、スチュワート・インベスターズ・グローバル・エマージング・マーケット・オールキャップ・ファンドの騰落率は当ファンドの計算期間における1営業日前のものを利用しています。

* 2 スチュワート・インベスターズ・グローバル・エマージング・マーケット・オールキャップ・ファンドの評価額は当日の市場の終値を基に算出することとなっており、MSCIエマージングマーケット・インデックス(配当込・税引後)の騰落率は当ファンドの計算期間における1営業日前のものを利用しています。

期間中の価格の推移



フォントベル・ファンド-USエクイティーオリティ・グロース(米ドル建て)

フォントベル・ファンド-USエクイティーオリティ・グロースの当期の騰落率^{*1}は5.75%でした。対応する期間^{*2}のベンチマークであるS&P500指数(配当込)の騰落率は13.88%でした。

- * 1 当ファンドの基準価額の算定はフォントベル・ファンド-USエクイティーオリティ・グロースの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、フォントベル・ファンド-USエクイティーオリティ・グロースの騰落率は当ファンドの計算期間における2営業日前のものを利用しています。
- * 2 フォントベル・ファンド-USエクイティーオリティ・グロースの評価額は当日の市場の終値を基に算出することとなっており、S&P500指数(配当込)の騰落率は当ファンドの計算期間における2営業日前のものを利用しています。



コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80(適格機関投資家限定)(円建て)

コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80(適格機関投資家限定)の当期の基準価額の騰落率^{*1}は4.08%でした。対応する期間^{*2}のMSCIヨーロッパ・インデックス(円建て換算・配当込・税引後)の騰落率は30.70%でした。

- * 1 当ファンドの基準価額の算定はコムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80(適格機関投資家限定)の前営業日の基準価額を基に行う仕組みとなっておりますので、コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80(適格機関投資家限定)の騰落率は当ファンドの計算期間における1営業日前のものを利用しています。
- * 2 コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80(適格機関投資家限定)の基準価額は前日の市場の終値と当日の投資信託協会発表の評価用為替レートを基に算出することとなっておりますので、MSCIヨーロッパ・インデックス(円建て換算・配当込・税引後)の騰落率は当ファンドの計算期間における2営業日前の値と1営業日前の投資信託協会発表の評価用為替レートを利用して算出しています。



コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90(適格機関投資家限定)(円建て)

コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90(適格機関投資家限定)の当期の基準価額の騰落率^{*1}は26.60%でした。対応する期間^{*2}のMSCIエマージングマーケット・インデックス(円建て換算・配当込・税引後)の騰落率は33.62%でした。

- * 1 当ファンドの基準価額の算定はコムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90(適格機関投資家限定)の前営業日の基準価額を基に行う仕組みとなっておりますので、コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90(適格機関投資家限定)の騰落率は当ファンドの計算期間における1営業日前のものを利用しています。
- * 2 コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90(適格機関投資家限定)の基準価額は前日の市場の終値と当日の投資信託協会発表の評価用為替レートを基に算出することとなっておりますので、MSCIエマージングマーケット・インデックス(円建て換算・配当込・税引後)の騰落率は当ファンドの計算期間における2営業日前の値と1営業日前の投資信託協会発表の評価用為替レートを利用して算出しています。



スパークス・集中投資・日本株ファンドS(適格機関投資家限定) (円建て)

スパークス・集中投資・日本株ファンドS(適格機関投資家限定)の当期の基準価額の騰落率^{*1}は23.47%でした。対応する期間^{*2}の東証株価指数[TOPIX](配当込)の騰落率は26.87%でした。

* 1 当ファンドの基準価額の算定はスパークス・集中投資・日本株ファンドS(適格機関投資家限定)の前営業日の基準価額を基に行う仕組みとなっておりますので、スパークス・集中投資・日本株ファンドS(適格機関投資家限定)の騰落率は当ファンドの計算期間における1営業日前のものを利用しています。

* 2 スパークス・集中投資・日本株ファンドS(適格機関投資家限定)の基準価額は当日の市場の終値を基に算出することとなっておりますので、東証株価指数[TOPIX](配当込)の騰落率は当ファンドの計算期間における1営業日前のものを利用しています。



スパークス・長期厳選・日本株ファンド(適格機関投資家限定) (円建て)

スパークス・長期厳選・日本株ファンド(適格機関投資家限定)の当期の基準価額の騰落率^{*1}は14.88%でした。対応する期間^{*2}の東証株価指数[TOPIX](配当込)の騰落率は26.87%でした。

* 1 当ファンドの基準価額の算定はスパークス・長期厳選・日本株ファンド(適格機関投資家限定)の前営業日の基準価額を基に行う仕組みとなっておりますので、スパークス・長期厳選・日本株ファンド(適格機関投資家限定)の騰落率は当ファンドの計算期間における1営業日前のものを利用しています。

* 2 スパークス・長期厳選・日本株ファンド(適格機関投資家限定)の基準価額は当日の市場の終値を基に算出することとなっておりますので、東証株価指数[TOPIX](配当込)の騰落率は当ファンドの計算期間における1営業日前のものを利用しています。



コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定) (円建て)

コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)の当期の基準価額の騰落率^{*1}は21.46%でした。対応する期間^{*2}の東証株価指数[TOPIX](配当込)の騰落率は26.87%でした。

* 1 当ファンドの基準価額の算定はコムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)の前営業日の基準価額を基に行う仕組みとなっておりますので、コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)の騰落率は当ファンドの計算期間における1営業日前のものを利用しています。

* 2 コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)の基準価額は当日の市場の終値を基に算出することとなっておりますので、東証株価指数[TOPIX](配当込)の騰落率は当ファンドの計算期間における1営業日前のものを利用しています。



為替レートの推移

当期の対米ドルの為替レートは3.52%の円安(ファンドの基準価額にはプラスの影響)*でした。

* 当ファンドの基準価額の算定は、当日の投資信託協会発表の評価用為替レートを使用して行う仕組みとなっておりますので、為替レートの変化率は当ファンドの計算期間における投資信託協会発表の評価用為替レートを利用しています。

(円) 期間中の為替レート(対米ドル)の推移



今後の運用方針

引き続き、長期的な資産の成長だけに焦点をあて、一貫した姿勢で株式への投資比率を高位に保ってまいります。長期的には株価は価値を反映していくとの認識のもと、株式市場で価値が過小評価されていると考えられる企業に投資することで、リスクを抑えながら長期的に市場平均を上回るリターンを獲得することを目指す方針は変わりません。

具体的には、ファンド・オブ・ファンズの仕組みを利用して、それぞれの地域で強みを持つ投資先ファンドが、長期的な視点で個別銘柄の調査を行うことにより価値を見極めて、価値が株価に正しく反映されていないと考えられる場合にのみ投資を行っています。価値と価格の差が長期的な成果の源泉となると強く認識していることから、引き続き長期的な視点で価値を見極める能力と、高すぎる価格を支払わない一貫した姿勢を重視して、投資先ファンドの評価を行っていきます。

そのうえで、地域ごとの投資比率を、市場全体に対する平均的な評価を反映する時価総額ではなく、投資対象となる企業の数と規模で表される投資機会の大きさを勘案して決定し、注目を集めている市場に過剰に投資することを避け、見過ごされている市場の魅力的な投資機会を活用することを目指しています。

当ファンドの上昇率は参考指標を下回る状況が続いているが、資産を長期的に成長させるためには、価値と価格の関係に焦点をあてて投資を行うことが最も重要との認識に変わりはありません。また、分散投資の長期的な成果は市場の関心から外れている地域や分野へも継続して投資することにより得ることができると認識しており、市場の予測などに基づく投資比率の調整は行わず、信頼度が高いファンドのパフォーマンスが相対的に劣後して比率が低下した場合には、積極的に追加投資を行います。

市場はある程度は合理的な一方で、時には大きく間違うことがあると認識しており、市場の動きを追いかげずに、価値があるものに高すぎない価格で投資する一貫した姿勢を維持することが、投資を継続していただいている皆さまの資産の長期的な成長に資するとの認識に変わりはなく、引き続き同じ方針で運用してまいります。

ポートフォリオマネージャー 濑下 哲雄

分配金

基準価額の水準、並びに市場環境等を考慮し、当期の分配については見送りとさせていただきました。なお、留保金につきましては、元本部分と同様の運用を行って参ります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第19期
	2024年12月11日～2025年12月10日
当期分配金 (対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	41,023

・対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込)に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

1万口当たりの費用明細

項目	当 期		項目の概要	
	(2024年12月11日～2025年12月10日)			
	金額	比率		
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	257円 (141) (100) (16)	0.572% (0.313) (0.223) (0.035)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ・委託した資金の運用の対価 ・交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 ・運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価	
(b) その他費用 (監査費用) (そ の 他)	0 (0) (0)	0.000 (0.000) (0.000)	(b) その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・その他は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・移転等に要する費用	
合 計	257	0.572		

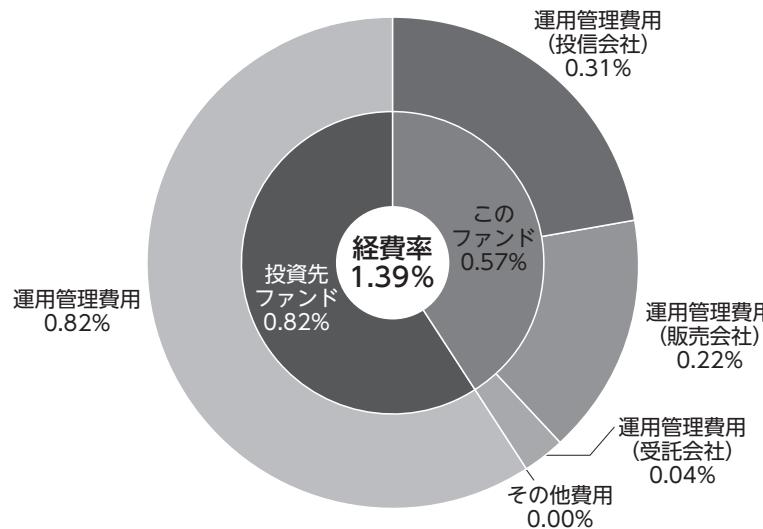
期中の平均基準価額は44,949円です。

- ・期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- ・各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。
- ・財産維持手数料は当期は発生しておりません。
- ・各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。
- ・各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

<参考情報>

経費率(投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。)

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した経費率(年率)は1.39%です。



経費率(①+②)	1.39%
①このファンドの費用の比率	0.57%
②投資先ファンドの経費率	0.82%

- ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- ②の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理费率を乗じて算出した概算値です。
- 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- 各比率は、年率換算した値です。小数点以下第2位未満を四捨五入して表示しているため、合計が一致しない場合があります。
- 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。
- ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。
- 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

期中の売買及び取引の状況 (2024年12月11日から2025年12月10日まで)

投資信託受益証券		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80 (適格機関投資家限定)	千口 7,076,920	千円 16,730,000	千口 -	千円 -
	コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90 (適格機関投資家限定)	4,873,722	7,265,000	19,928	25,000
	スパークス・集中投資・日本株ファンドS (適格機関投資家限定)	73,616	575,000	-	-
	スパークス・長期厳選・日本株ファンド (適格機関投資家限定)	-	-	74,225	710,000
	コムジェスト日本株式ファンド (適格機関投資家限定)	56,217	120,000	34,267	90,000
投資証券		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国外	アイルランド	バンガード 米国オポチュニティファンド FSSAアジア・パシフィック株式ファンド スチュワート・インベスターーズ・グローバル・エマージング・マーケット・オールキャップ・ファンド	千口 3 - 2,800	千米ドル 5,000 15 27,250	千米ドル 6 284 8,312 84,804
		アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセント レイティッドUSエクイティ・ポートフォリオ BBH・ルクセンブルグ・ファンズ-BBH・コア・セレクト	千口 76 49	千米ドル 3,700 2,883	千米ドル 2,707 11 650
		フォントベル・ファンド-mtxエマージング・マーケット・リーダーズ フォントベル・ファンド-USエクイティ-ワオリティ・グロース	32 416	3,250 131,050	6 -
	ルクセンブルク				

・金額は受渡し代金です。

・千単位未満を切り捨てて表示しております。

利害関係人との取引状況等 (2024年12月11日から2025年12月10日まで)

当期中における利害関係人との取引はありません。

・利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況 (2024年12月11日から2025年12月10日まで)

該当事項はありません。

自社による当ファンドの設定・解約状況 (2024年12月11日から2025年12月10日まで)

該当事項はありません。

組入資産の明細

ファンド・オブ・ファンズが組入れた円建てファンドの明細

(2025年12月10日現在)

ファンド名	期首(前期末)	当期末		
	単位数又は口数	単位数又は口数	評価額	比率
株式ファンド				
コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80(適格機関投資家限定)	千口 36,091,407	千口 43,168,328	千円 104,989,690	% 24.2
コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90(適格機関投資家限定)	10,346,110	15,199,905	23,378,974	5.4
スパークス・集中投資・日本株ファンドS(適格機関投資家限定)	1,692,450	1,766,066	17,459,513	4.0
スパークス・長期厳選・日本株ファンド(適格機関投資家限定)	1,871,826	1,797,600	18,986,978	4.4
コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)	6,558,703	6,580,653	17,715,777	4.1
小計	□数・金額 56,560,498	□数・金額 68,512,554	□数・金額 182,530,934	42.1
	銘柄数 5	銘柄数 5	—	
合計	□数・金額 56,560,498	□数・金額 68,512,554	□数・金額 182,530,934	42.1
	銘柄数 5	銘柄数 5	—	

・千単位未満は切り捨てて表示しております。

・比率は、純資産総額に対する評価額の比率です。

・比率は小数点以下第1位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建てファンドの明細

(2025年12月10日現在)

ファンド名	期首(前期末)	当期末		
	単位数 又は口数	単位数 又は口数	評価額	比率
		外貨建金額	邦貨換算金額	
株式ファンド				
バンガード 米国オポチュニティファンド	千口 310	千口 307	千米ドル 636,146	千円 99,798,681
アライアンス・バーンスタン SICAV-コンセントレーテッドUSエクイティ・ポートフォリオ	4,162	1,531	80,948	12,699,221
BBH・ルクセンブルグ・ファンズ-BBH・コア・セレクト	3,716	3,754	240,935	37,797,895
FSSAアジア・パシフィック株式ファンド	9,231	8,947	286,043	44,874,453
フォントベル・ファンド-mtxエマージング・マーケット・リーダーズ	848	874	113,430	17,794,918
スキュワート・インベスターズ・グローバル・エマージング・マーケット・オールキャップ・ファンド	5,512	—	—	—
フォントベル・ファンド-USエクイティーオリティ・グロース	179	595	193,054	30,286,445
小計	□数・金額 23,962	□数・金額 16,011	—	243,251,615
	銘柄数 7	銘柄数 6	—	—
合計	□数・金額 23,962	□数・金額 16,011	—	243,251,615
	銘柄数 7	銘柄数 6	—	—

・邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

・千単位未満は切り捨てて表示しております。

・比率は、純資産総額に対する各通貨の投資証券評価額の比率です。

・比率は小数点以下第1位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

投資信託財産の構成

(2025年12月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 182,530,934	% 41.9
投 資 資 証 券	243,251,615	55.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	9,506,962	2.2
投 資 信 託 財 産 総 額	435,289,512	100.0

・金額の千円未満は切捨てて表示しております。比率は小数点以下第1位未満を四捨五入しております。

・当期末における外貨建資産(243,251,615千円)の投資信託財産総額(435,289,512千円)に対する比率は55.9%です。

・外貨建純資産は、期末の時価を我国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。当期末における邦貨換算レートは1米ドル=156.88円です。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

2025年12月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	435,289,512,655円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	9,506,962,507
投資信託受益証券(評価額)	182,530,934,597
投 資 証 券(評 価 額)	243,251,615,551
(B) 負 債	1,550,980,950
未 払 解 約 金	409,034,353
未 払 信 託 報 酬	1,141,284,709
そ の 他 未 払 費 用	661,888
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	433,738,531,705
元 本	85,006,852,809
次 期 繰 越 損 益 金	348,731,678,896
(D) 受 益 権 総 口 数	85,006,852,809口
1万口当たり基準価額 (C/D)	51,024円

期首元本額
期中追加設定元本額
期中一部解約元本額
1口当たり純資産額

・当運用報告書作成時点では監査未了です。

損益の状況

当期 自2024年12月11日 至2025年12月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益 受 取 利 息 そ の 他 収 益	85,451,767円 31,390,335 54,061,432
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益 売 買 益 売 買 損	57,376,868,645 59,363,065,650 △ 1,986,197,005
(C) 信 託 報 酉 等	△ 2,152,125,317
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	55,310,195,095
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	113,168,922,838
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金 (配 当 等 相 当 額) (完 買 損 益 相 当 額)	180,252,560,963 173,167,618,521 7,084,942,442
(G) 合 計 (D + E + F) 次 期 繰 越 損 益 金 (G)	348,731,678,896 348,731,678,896
追 加 信 託 差 損 益 金 (配 当 等 相 当 額) (完 買 損 益 相 当 額)	180,252,560,963 173,167,618,521 7,084,942,442
分 配 準 備 積 立 金 繰 越 損 益 金	168,479,117,933 0

・(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
・(C)信託報酬等には信託報酬等に関わる消費税等を含めて表示しています。

・(F)追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

・分配金の計算過程は以下の通りです。

項 目	当 期
(a) 経 費 控 除 後 の 配 当 等 収 益	82,223,579円
(b) 経費控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益	55,227,971,516
(c) 信 託 約 款 に 定 め る 収 益 調 整 金	180,252,560,963
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	113,168,922,838
(e) 分 配 対 象 収 益 (a+b+c+d)	348,731,678,896
(f) 分 配 対 象 収 益 (1 万 口 当 た り)	41,023.95
(g) 分 配 金	-
(h) 分 配 金 (1 万 口 当 た り)	-

・当運用報告書作成時点では監査未了です。

お知らせ

当期中の約款変更について

2024年12月11日から2025年12月10日までの期間に実施した約款変更は以下のとおりです。

●2025年3月11日付

投資対象ファンド名称の変更に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。

●2025年4月1日付

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。

●2025年9月11日付

投資対象ファンド名称の変更に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。

※2026年3月11日付で、信託財産留保額を廃止することに伴い、投資信託約款に所要の変更を行う予定です。

<組入投資対象ファンドの内容>

以下は、当ファンドが投資対象としている投資信託受益証券ならびに投資証券の運用状況です。
なお、以下の各項目の注記につきましては、47頁をご参照ください。

1. バンガード 米国オポチュニティファンド

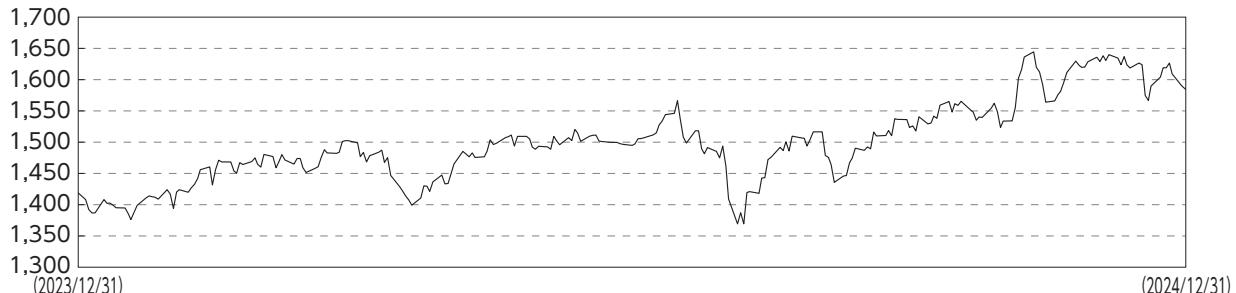
分類	インスティテューショナルシェア・クラス(米ドル建て)
ファンド形態	アイルランド籍／オープン・エンド会社型外国投資法人
ファンドの目的	平均を上回る潜在的な収益成長力がありながら、その企業価値がまだ市場価格に反映されていない銘柄へ投資することで、ファンド資産の長期的成長を目指すファンドです。
運用方針／投資対象	ファンドは主に米国株式に投資し、アクティブ運用を行います。長期的な視点で調査を行い、企業のファンダメンタルズ・バリュー（本来価値）に対して市場価格が魅力的な銘柄を選出します。時価総額に関する制約はありませんが、主に中小型株に投資します。
信託期間	無期限
運用会社	バンガード・グローバル・アドバイザーズ・エルエルシー
運用委託先	プライムキャップ・マネジメントカンパニー
保管銀行	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・トラスティー・サービス(アイルランド)リミテッド
管理事務代行会社	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・ファンド・アドミニストレーション・サービス(アイルランド)リミテッド
設定日	2002年4月8日
決算日	毎年12月31日

(2024年12月末日現在)

1. バンガード 米国オポチュニティファンド

■基準価額の推移

(米ドル)



■組入上位10銘柄

(2024年12月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	Eli Lilly & Co.	5.7
2	Alphabet Inc.	3.1
3	Flex Ltd.	2.9
4	Xometry Inc.	2.5
5	Raymond James Financial Inc.	2.3
6	Visa Inc.	1.8
7	Micron Technology Inc.	1.8
8	Tradeweb Markets Inc.	1.7
9	Tesla Inc.	1.7
10	NEXTracker Inc.	1.5
組入銘柄数		233銘柄

■1万口当たりの費用明細

単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

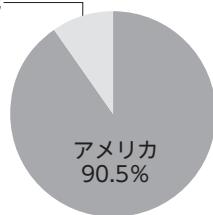
■費用明細 (2024年12月31日現在)

ファンド財産	購入時	なし
維持手数料率	解約時	なし
運用管理費率(年率)(%)		0.85

- 運用管理費率は、平均純資産総額に対する運用および管理等にかかる費用の総額の比率を示したものです。

■国・地域別配分

その他
9.5%



- 国・地域別配分は、ファンドの投資資産に対する比率です。
- 資産別配分、通貨別配分については、開示されていないため記載しておりません。

2. アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイティッドUSエクイティ・ポートフォリオ

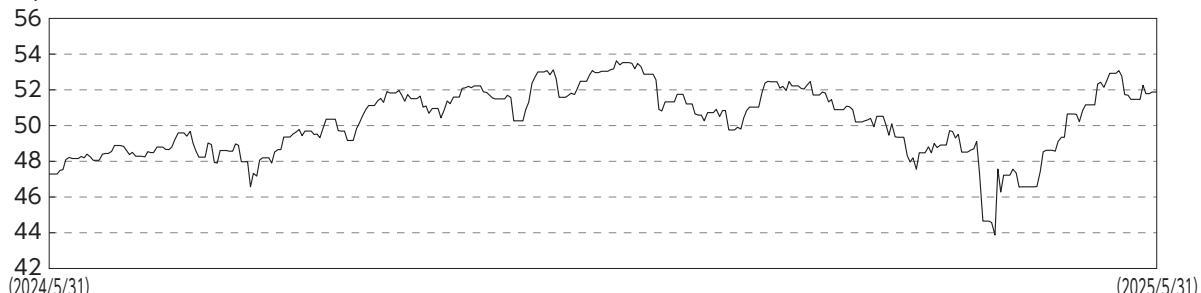
分類	クラスI
ファンド形態	ルクセンブルグ籍／オープン・エンド型外国投資法人
ファンドの目的 (基本方針)	投資元本の長期的成長を追求します。
主な投資対象・制限	当ファンドは、運用会社が非常に質が高く成長が期待できると判断する厳選された米国企業の株式およびフラント等その他の譲渡可能有価証券から構成される、アクティブ運用型の集中ポートフォリオに投資を行います。投資先となる企業は、その成長力、業務特性、収益成長、財務状況、および経験豊富な経営陣の評価に基づいて選定されます。
信託期間	無期限
運用会社	アライアンス・バーンスタイン・エル・ピー
保管銀行／受託会社	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン(ルクセンブルグ)エス・シー・エイ
管理事務代行会社	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン(ルクセンブルグ)エス・シー・エイ
設定日	2013年12月23日
決算日	毎年5月31日

(2025年5月31日現在)

2. アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ

■基準価額の推移

(米ドル)



■組入上位10銘柄

(2025年5月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	Microsoft Corp.	9.6
2	Mastercard, Inc. - Class A	9.4
3	Amazon.com, Inc.	9.2
4	Amphenol Corp. - Class A	6.9
5	Eaton Corp. PLC	5.5
6	Charles Schwab Corp. (The)	5.0
7	Automatic Data Processing, Inc.	4.9
8	Arthur J Gallagher & Co.	4.8
9	Zoetis, Inc.	4.8
10	Ecolab, Inc.	4.7
組入銘柄数		19銘柄

■1万口当たりの費用明細

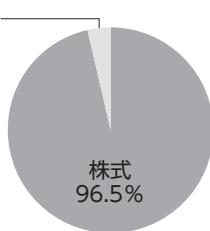
単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

(2025年5月31日現在)

販売手数料	なし
信託財産留保金	なし
信託報酬(年率)(%)	0.85

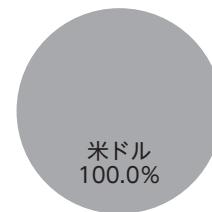
■資産別配分

現金等
3.6%

■国・地域別配分

アメリカ
100.0%

■通貨別配分

米ドル
100.0%

・資産別配分、通貨別配分は、ファンドの純資産総額に対する比率です。

・国・地域別配分は、ファンドの投資資産に対する比率です。

3. BBH・ルクセンブルグ・ファンズーBBH・コア・セレクト

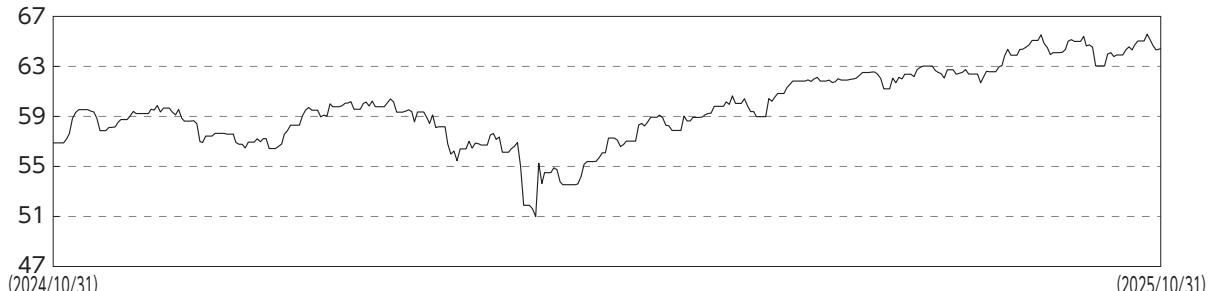
分類	クラスI
ファンド形態	ルクセンブルグ籍／会社型外国投資信託 UCTIS (SICAV)
ファンドの目的 (基本方針)	ファンドの目的は、投資家様に長期的な成長のメリットを提供することです。投資元本の確保に重点をおきつつも、長期にわたる魅力的なリターン創出を目指します。
主な投資対象・制限	当ファンドの投資対象は、主に米国株式市場に上場された中・大型株式が中心となっています。BBHが定めた6つの厳格な投資基準を満たす企業の株式をベースにユニバースを構成し、その中から割安と判断される約20-35のみを選択して集中投資を行います。
信託期間	無期限
運用会社	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・アンド・コー
保管銀行／受託会社	J.P. モルガン・エスイー、ルクセンブルグ・ブランチ (J.P. Morgan SE, Luxembourg Branch)
管理事務代行会社	J.P. モルガン・エスイー、ルクセンブルグ・ブランチ (J.P. Morgan SE, Luxembourg Branch)
設定日	2009年1月28日
決算日	毎年10月31日

(2025年10月31日現在)

3. BBH・ルクセンブルグ・ファンズーBBH・コア・セレクト

■基準価額の推移

(米ドル)



■組入上位10銘柄

(2025年10月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	Alphabet Inc	7.7
2	Microsoft Corp	7.6
3	KLA Corp	6.2
4	Oracle Corp	5.5
5	Amazon.com Inc	5.3
6	Mastercard Inc	3.9
7	Apple Inc	3.7
8	Booking Holdings Inc	3.5
9	Thermo Fisher Scientific Inc	3.2
10	Linde PLC	3.0
組入銘柄数		34銘柄

■1万口当たりの費用明細

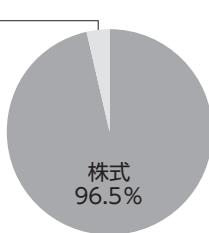
単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

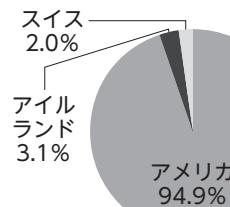
■費用明細 (2025年10月31日現在)

販売手数料	なし
信託財産留保金	なし
信託報酬(年率)(%)	1.00

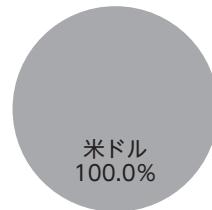
■資産別配分

現金等
3.5%

■国・地域別配分



■通貨別配分

米ドル
100.0%

- ・資産別配分、通貨別配分は、ファンドの純資産総額に対する比率です。
- ・国・地域別配分は、ファンドの投資資産に対する比率です。

4. FSSAアジア・パシフィック株式ファンド

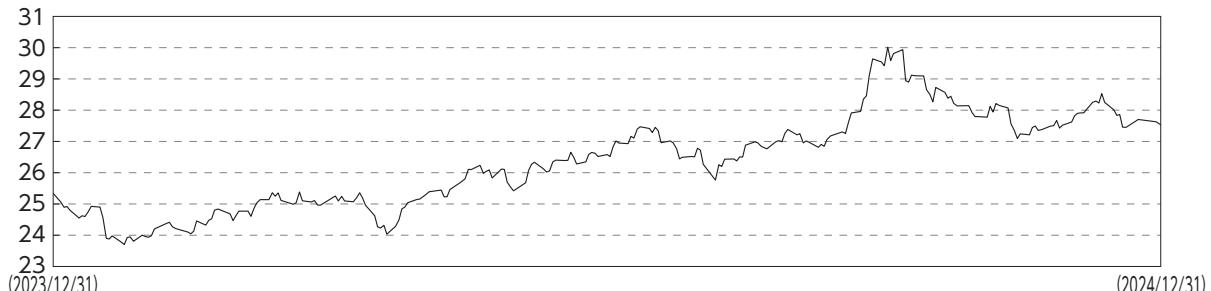
分類	クラスIII
ファンド形態	アイルランド籍／会社型外国投資信託
ファンドの目的 (基本方針)	十分に分散されたポートフォリオを構築し、クオリティが高いと判断する銘柄への選別投資を通じて、長期的な受託資産の保全と成長を目指します。
主な投資対象・制限	当ファンドの投資対象は、主にアジア太平洋地域で設立された企業、および、当該地域で主たる事業を営む上場企業で、十分な市場流動性を有する大型・中型の銘柄とします。適切な制限を設けることでポートフォリオにおける十分な分散を考慮しますが、参考ベンチマークを意識することなく運用チームが高いクオリティを有すると判断する確信度の高い企業のみを組み入れます。
信託期間	無期限
運用会社	F S S Aインベストメント・マネージャーズ
保管銀行／受託会社	H S B Cコンチネンタル ヨーロッパ
管理事務代行会社	H S B Cセキュリティーズ・サービス(アイルランド)ディーエーシー
設定日	2010年3月11日
決算日	毎年12月31日

(2024年12月31日現在)

4. FSSAアジア・パシフィック株式ファンド

■基準価額の推移

(米ドル)



■組入上位10銘柄

(2024年12月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	HDFC Bank	8.9
2	Tencent Holdings Ltd.	8.4
3	China Mengniu Dairy Co., Ltd.	5.5
4	ICICI Bank Limited	5.0
5	Sony Group Corporation	4.8
6	Oversea-Chinese Banking Corporation	4.1
7	Taiwan Semiconductor (TSMC)	3.9
8	Kasikornbank Public Co. Ltd.	3.6
9	China Resources Beer (Holdings) Co. Ltd.	3.1
10	Infosys	3.0
組入銘柄数		42銘柄

■1万口当たりの費用明細

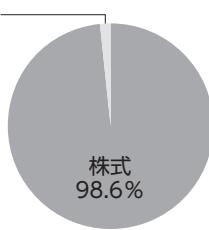
単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

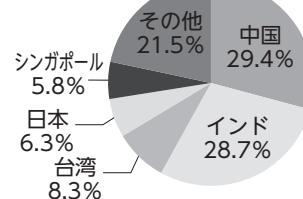
■費用明細 (2024年12月31日現在)

販売手数料	なし
信託財産留保金	なし
信託報酬(年率)(%)	0.85

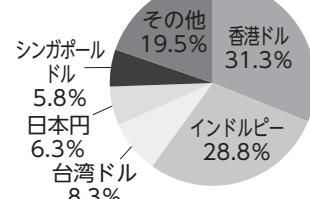
■資産別配分

現金等
1.4%

■国・地域別配分



■通貨別配分



・資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、ファンドの純資産総額に対する評価額の比率です。

5. フォントベル・ファンドーmtxエマージング・マーケット・リーダーズ

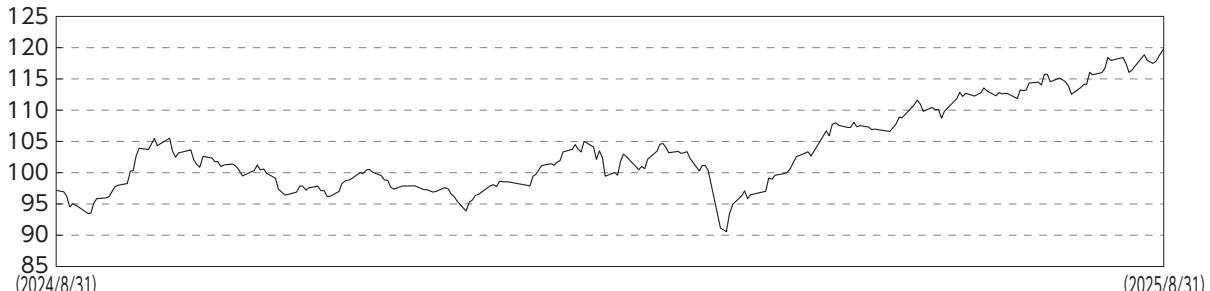
分類	Gクラス(米ドル建て)
ファンド形態	ルクセンブルグ籍／オープン・エンド会社型外国投資法人
ファンドの目的 (基本方針)	当ファンドは、主として新興国の株式に実質的に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
主な投資対象・制限	主として新興国の企業の株式(預託証券を含む)の中で、持続的な成長が期待される銘柄に投資を行います。銘柄選定に際しては、投下資本利益率、業界内での競争優位性、株価の上昇余地、ESG基準の4つの軸で評価を行います。
信託期間	無期限
運用会社	フォントベル・アセット・マネジメント・アー・ゲー
保管銀行／受託会社	ステート・ストリート・バンク・インターナショナルGmbH、ルクセンブルグ・プランチ
管理事務代行会社	ステート・ストリート・バンク・インターナショナルGmbH、ルクセンブルグ・プランチ
設定日	2011年7月15日
決算日	毎年8月31日

(2025年8月31日現在)

5. フォントベル・ファンド-mtxエマージング・マーケット・リーダーズ

■基準価額の推移

(米ドル)



■組入上位10銘柄

(2025年8月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	Taiwan Semiconductor Manufac	9.4
2	Tencent Holdings Ltd	6.3
3	Samsung Electronics Co Ltd	4.5
4	Alibaba Group Holding Ltd	3.4
5	Hdfc Bank Limited	2.7
6	Bajaj Finance Ltd	2.6
7	Aia Group Ltd	2.6
8	Aldar Properties Pjsc	2.6
9	Cia Saneamento Basico De Sp	2.5
10	Itau Unibanco Holding S-Pref	2.5
組入銘柄数		53銘柄

■1万口当たりの費用明細

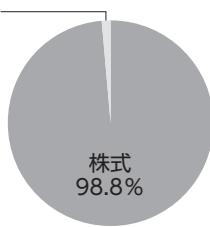
単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

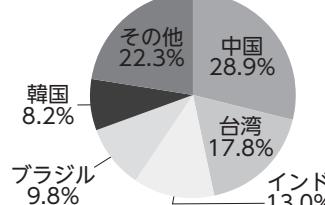
■費用明細 (2025年8月31日現在)

販売手数料	なし
信託財産留保金	なし
信託報酬(年率)(%)	0.65

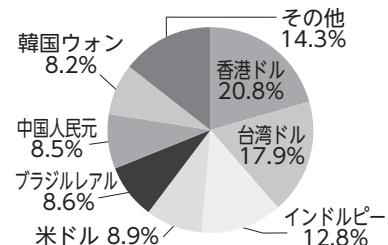
■資産別配分

現金等
1.2%

■国・地域別配分



■通貨別配分



・資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、ファンドの純資産総額に対する評価額の比率です。

6. スチュワート・インベスタートス・グローバル・エマージング・マーケット・オールキャップ・ファンド

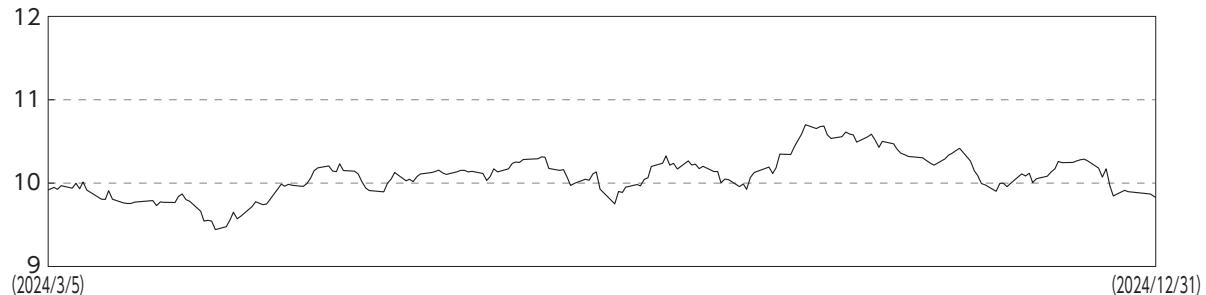
分類	クラスIII
ファンド形態	アイルランド籍／会社型外国投資信託
ファンドの目的 (基本方針)	持続可能な社会の発展に貢献し、その恩恵を受ける絶好のポジションにあるクオリティの高い企業の株式にボトムアップ投資することで、長期的な受託資産の保全と成長をめざします。
主な投資対象・制限	当ファンドの投資対象は、新興国市場(エマージング・アジア、ラテン・アメリカ、エマージング・ヨーロッパ、中東・アフリカ)に設立・上場されている企業、もしくは、過半の事業を当該地域で営む企業に投資します。適切な制限を設けることでポートフォリオにおける十分な分散を考慮しますが、参考ベンチマークを意識することなく、優れた企業経営陣・文化、強力な事業基盤、強固な財務を備えた高いクオリティを有すると判断する確信度の高い企業のみを組み入れます。
信託期間	無期限
運用会社	スチュワート・インベスタートス
保管銀行／受託会社	HSBCコンチネンタル ヨーロッパ
管理事務代行会社	HSBCセキュリティーズ・サービス(アイルランド)ディーエーシー
設定日	2019年2月18日
決算日	毎年12月31日

(2024年12月31日現在)

6. スチュワート・インベスタートス・グローバル・エマージング・マーケット・オールキャップ・ファンド

■基準価額の推移

(米ドル)



・当ファンドの投資シェアクラスは、2024年3月4日に設定されたため、2024年3月5日～2024年12月31日までのデータとなります。

■組入上位10銘柄

(2024年12月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	Mahindra & Mahindra	7.9
2	Taiwan Semiconductor (TSMC)	7.0
3	HDFC Bank	5.5
4	Tata Consultancy Serv. Ltd	4.6
5	Tube Investments of India Limited	4.6
6	Weg S.A.	3.1
7	Globant SA	3.1
8	Voltronic Power Technology Corp.	2.9
9	EPAM Systems, Inc.	2.9
10	Jeronimo Martins, SGPS S.A.	2.8
組入銘柄数		47銘柄

■1万口当たりの費用明細

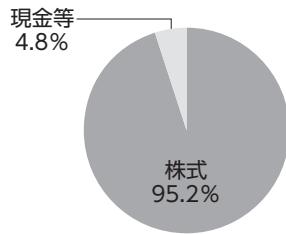
単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

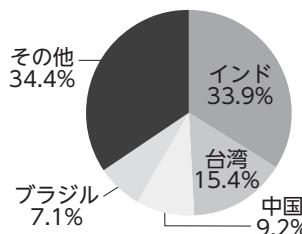
■費用明細 (2024年12月31日現在)

販売手数料	なし
信託財産留保金	なし
信託報酬(年率)(%)	0.85

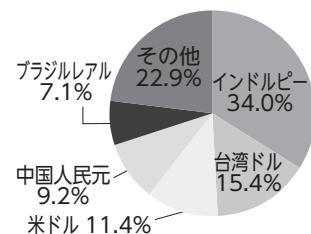
■資産別配分



■国・地域別配分



■通貨別配分



・資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、ファンドの純資産総額に対する評価額の比率です。

7. フォントベル・ファンドーUSエクイティーオリティ・グロース

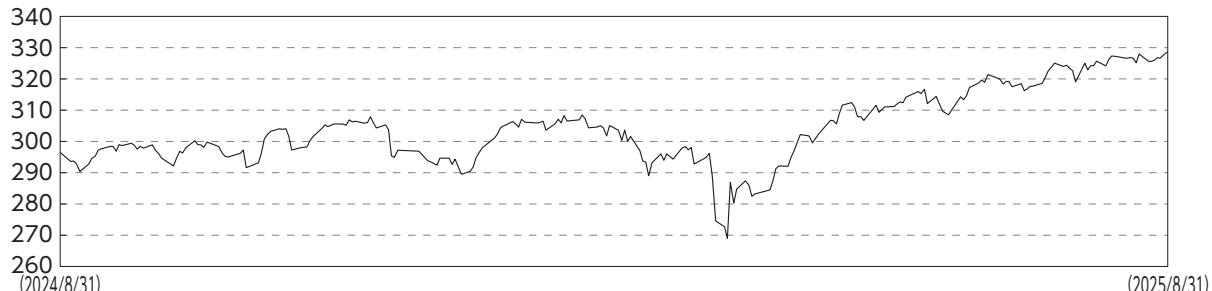
分類	Gクラス(米ドル建て)
ファンド形態	ルクセンブルグ籍／オープン・エンド会社型外国投資法人
ファンドの目的 (基本方針)	当ファンドは、クオリティの高い米国のグロース株式に実質的に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
主な投資対象・制限	主として米国企業の株式(預託証券を含む)の中で、持続的な利益成長が期待される銘柄に投資を行います。銘柄選定に際しては、景気サイクルの影響を受けにくい、非シリカルなセクターを中心に、一株あたり利益(EPS)の成長性が高くまた予測可能性・安定性があり、技術・製品・サービス等で競争優位性(moat)の高い銘柄に投資をします。
信託期間	無期限
運用会社	フォントベル・アセット・マネジメント・インク
保管銀行／受託会社	ステート・ストリート・バンク・インターナショナルGmbH、ルクセンブルグ・プランチ
管理事務代行会社	ステート・ストリート・バンク・インターナショナルGmbH、ルクセンブルグ・プランチ
設定日	1991年11月21日
決算日	毎年8月31日

(2025年8月31日現在)

7. フォントベル・ファンド-USエクイティーオリティ・グロース

■基準価額の推移

(米ドル)



■組入上位10銘柄

(2025年8月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	Microsoft Corp	6.5
2	Amazon Com Inc	5.9
3	Meta Platforms Inc Cl A	4.6
4	Intercontinental Exchange Inc Com	4.5
5	Coca Cola Co	4.2
6	Mastercard Incorporated Cl A	4.0
7	Rb Global Inc Com Npv	4.0
8	Alphabet Inc Cap Stk Cl A	3.6
9	Abbott Labs	3.5
10	Cme Group Inc	3.2
組入銘柄数		42銘柄

■1万口当たりの費用明細

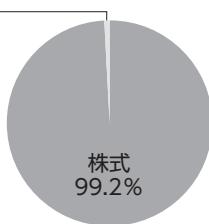
単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

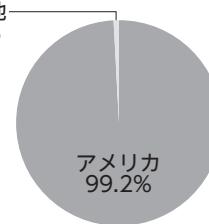
■費用明細 (2025年8月31日現在)

販売手数料	なし
信託財産留保金	なし
信託報酬(年率)(%)	0.55

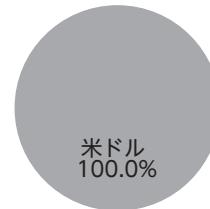
■資産別配分

現金等
0.8%

■国・地域別配分

その他
0.8%

■通貨別配分

米ドル
100.0%

・資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、ファンドの純資産総額に対する評価額の比率です。

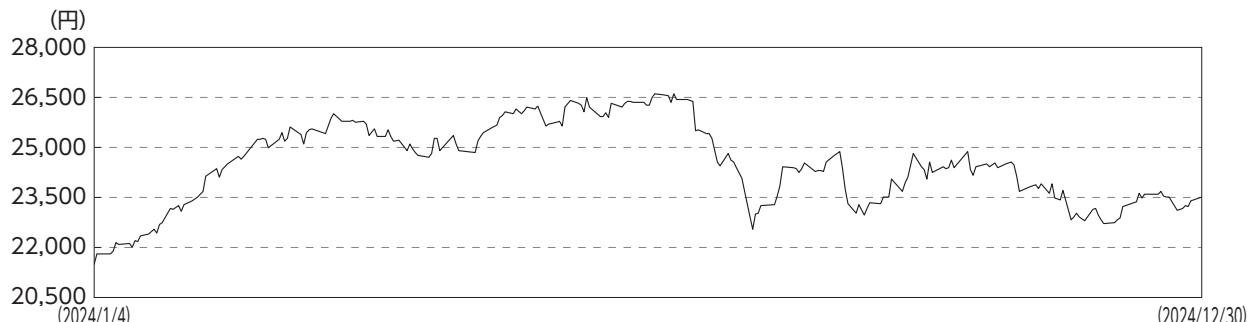
8. コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80(適格機関投資家限定)

投資信託協会分類	追加型投信／海外／株式
ファンド形態	通貨：日本円／ファンド籍：日本(適格機関投資家限定)
ファンドの目的 (基本方針)	当ファンドは、信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、積極的な運用を行うものです。
主な投資対象・制限	「ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とします。株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
投資態度	<p>①当ファンドはファミリーファンド方式により「ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンド」(以下「マザーファンド」といいます。)への投資を通して、主としてヨーロッパ諸国の株式に投資し、中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。</p> <p>②マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本としますが、相場環境によってはマザーファンドの組入比率の調整を行います。</p> <p>③実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>④原則として、有価証券先物取引等は行いません。</p> <p>⑤原則として、有価証券の貸付は行いません。</p> <p>⑥当ファンドの運用を行うコムジェスト・アセットマネジメントは、マザーファンドの運用の指図に関する権限をコムジェスト・エス・エー社に委託します。</p>
収益分配方針	毎決算時に、収益分配方針に基づき収益分配を行います。収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。
信託期間	無期限
委託会社	コムジェスト・アセットマネジメント株式会社
受託会社	野村信託銀行株式会社
設定日	2018年5月11日
決算日	毎年12月30日（年1回、休業日の場合は翌営業日）

(2024年12月30日現在)

8. コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80(適格機関投資家限定)

■基準価額の推移



■1万口当たりの費用明細

(2024年1月5日～2024年12月30日)

項目	金額	比率
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	215円 (134) (67) (13)	0.87% (0.54) (0.27) (0.05)
(b) 売買委託手数料 (株式)	4 (4)	0.01 (0.01)
(c) 有価証券取引税 (株式)	13 (13)	0.05 (0.05)
(d) その他の費用 (保管費用) (監査費用) (その他の1)	9 (9) (0) (0)	0.04 (0.04) (0.00) (0.00)
合計	241	0.97
期中の平均基準価額は24,724円です。		

- 各期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。
信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率
- 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。
- その他1は、外国株式に関する各種手数料等です。
- 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。
- 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用額(円未満の端数を含む)を各期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点第2位未満は四捨五入しております。

■組入資産の明細

(2024年12月30日現在)

	当期末
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンド	99.5%
組入銘柄数	1銘柄

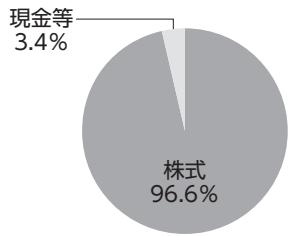
<ご参考> ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンド

■組入上位10銘柄

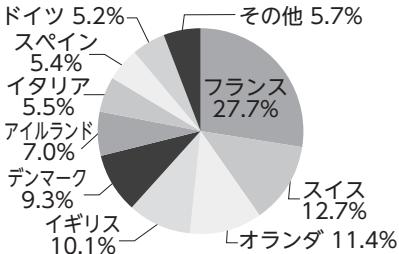
(2024年12月25日現在)

	銘柄名称	投資比率 (%)
1	ASML HOLDING NV	7.1
2	NOVO NORDISK A/S-B	5.9
3	ESSILORLUXOTTICA	5.2
4	SCHNEIDER ELECTRIC SE	4.9
5	ALCON INC	4.1
6	AIR LIQUIDE	4.0
7	RELX PLC	3.6
8	DASSAULT SYSTEMES SE	3.3
9	EXPERIAN PLC	3.2
10	STRAUMANN HOLDING AG-REG	2.9
組入銘柄数		40銘柄

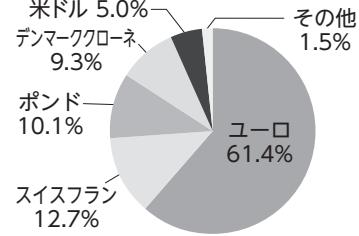
■資産別配分



■国・地域別配分



■通貨別配分



・投資比率は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価金額の比率です。

・資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する比率です。

・国・地域は、コムジェスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。

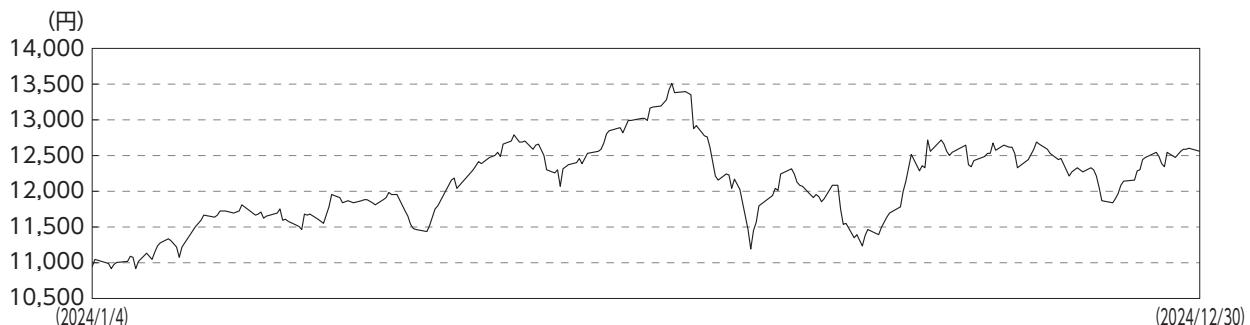
9. コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90(適格機関投資家限定)

投資信託協会分類	追加型投信／海外／株式
ファンド形態	通貨：日本円／ファンド籍：日本(適格機関投資家限定)
ファンドの目的 (基本方針)	当ファンドは、信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、積極的な運用を行うものです。
主な投資対象・制限	「ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とします。 株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
投資態度	①当ファンドはファミリーファンド方式により「ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド」(以下「マザーファンド」といいます。)への投資を通して、主として新興諸国の株式に投資し、中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。 ②マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本としますが、相場環境によってはマザーファンドの組入比率の調整を行います。 ③実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ④原則として、有価証券先物取引等は行いません。 ⑤原則として、有価証券の貸付は行いません。 ⑥当ファンドの運用を行うコムジェスト・アセットマネジメントは、マザーファンドの運用の指図に関する権限をコムジェスト・エス・エー社に委託しています。
収益分配方針	毎決算時に、収益分配方針に基づき収益分配を行います。収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。
信託期間	無期限
委託会社	コムジェスト・アセットマネジメント株式会社
受託会社	野村信託銀行株式会社
設定日	2018年5月11日
決算日	毎年12月30日（年1回、休業日の場合は翌営業日）

(2024年12月30日現在)

9. コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90(適格機関投資家限定)

■基準価額の推移



■1万口当たりの費用明細

(2024年1月5日～2024年12月30日)

項目	金額	比率
(a) 信託報酬 (投信会社)	118円 (75)	0.98% (0.62)
(販売会社)	(37)	(0.30)
(受託会社)	(7)	(0.05)
(b) 売買委託手数料 (株式)	6 (6)	0.05 (0.05)
(c) 有価証券取引税 (株式)	5 (5)	0.04 (0.04)
(d) その他の費用 (保管費用) (監査費用) (その他の1)	50 (19) (1) (30)	0.41 (0.16) (0.00) (0.25)
合計	179	1.48
期中の平均基準価額は12,067円です。		

- 各期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率

- 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。
- その他1は、外国株式に関する各種手数料等、インド株式におけるキャピタルゲイン課税等です。
- 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。
- 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を各期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点第2位未満は四捨五入しております。

■組入資産の明細

(2024年12月30日現在)

	当期末
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド	99.4%
組入銘柄数	1銘柄

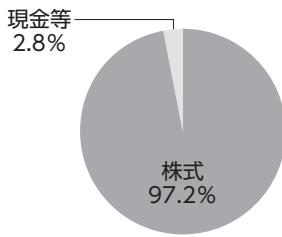
<ご参考> ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド

■組入上位10銘柄

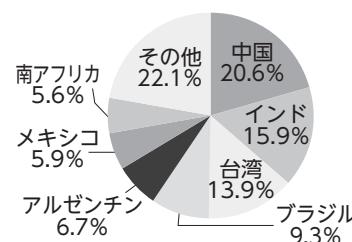
(2024年12月25日現在)

	銘柄名称	投資比率 (%)
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	9.9
2	TENCENT HOLDINGS LTD	6.9
3	MERCADOLIBRE INC	4.1
4	DELTA ELECTRONICS INC	4.0
5	ASML HOLDING NV	3.6
6	DISCOVERY LTD	3.5
7	WEG SA	3.4
8	MIDEA GROUP CO LTD-A	3.3
9	SAMSUNG ELECTRONICS CO.,LTD.	3.2
10	Wal Mart de Mexico SAB de CV	3.2
組入銘柄数		40銘柄

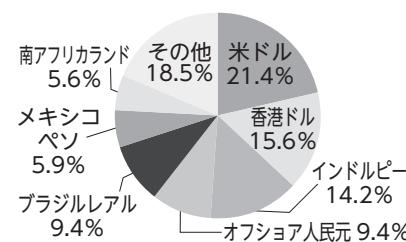
■資産別配分



■国・地域別配分



■通貨別配分



・投資比率は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価金額の比率です。

・資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する比率です。

・国・地域は、コムジェスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。

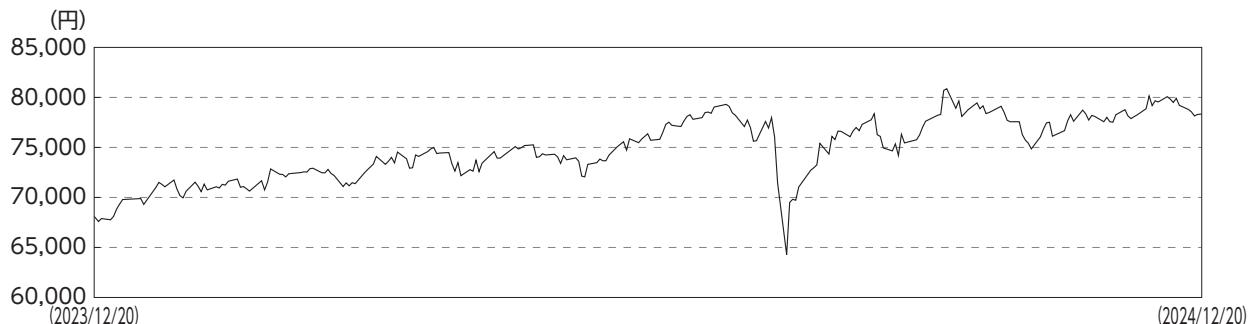
10. スパークス・集中投資・日本株ファンドS(適格機関投資家限定)

投資信託協会分類	追加型投信／国内／株式
ファンド形態	通貨：日本円／ファンド籍：日本(適格機関投資家限定)
ファンドの目的 (基本方針)	当ファンドは、スパークス集中投資戦略マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指し積極的な運用を行います。
主な投資対象・制限	主としてマザーファンド受益証券への投資を通じて、わが国の金融商品取引所上場株式に実質的に投資を行います。なお、株式等に直接投資する場合があります。 ①株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ②外貨建資産への投資は行いません。
投資態度	①マザーファンド受益証券への投資を通じて、ベンチマークや業種にとらわれず、魅力的と判断したわが国の株式に集中投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して、積極的な運用を行います。 ②株式への投資にあたっては、ファンダメンタル分析に基づくポートフォリオの構築を行い、長期的な投資時間軸を持つことで、マーケットに埋もれている投資機会の発掘に努めます。また、投資先企業の経営者とコミュニケーションを図り、企業価値の向上を促すための実質的な株主として行動することがあります。 ③マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。ただし、資金動向等によっては、わが国の株式に直接投資する場合もあります。実質的な株式の組入比率は信託財産総額の50%超を基本とし、実質的な株式以外の資産への投資は、原則として信託財産総額の50%以下とします。 ④資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。
収益分配方針	原則として分配は行いません。
信託期間	無期限
委託会社	スパークス・アセット・マネジメント株式会社
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
設定日	2010年3月10日
決算日	毎年12月20日（年1回、休業日の場合は翌営業日）

(2024年12月20日現在)

10. スパークス・集中投資・日本株ファンドS(適格機関投資家限定)

■基準価額の推移



■1万口当たりの費用明細

(2023年12月21日～2024年12月20日)

項目	金額	比率
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	621円 (551) (41) (29)	0.83% (0.73) (0.05) (0.04)
(b) 売買委託手数料	31	0.04
(c) その他費用	3	0.00
合計	655	0.87
期中の平均基準価額は75,303円です。		

- 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- その他費用は、監査費用です。
- 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。
- 各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」と期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点第2位未満は四捨五入しております。

■組入資産の明細

(2024年12月20日現在)

	当期末
スパークス集中投資戦略マザーファンド	100.0%
組入銘柄数	1銘柄

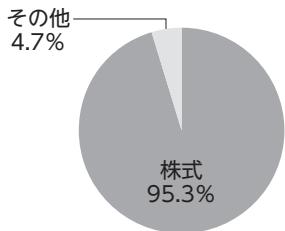
<ご参考> スパークス集中投資戦略マザーファンド

■組入上位10銘柄

(2024年12月20日現在)

	銘柄名称	投資比率 (%)
1	ライフドリンク カンパニー	8.5
2	MARUWA	8.2
3	トーセイ	5.5
4	マックス	5.2
5	メック	4.0
6	SBIホールディングス	3.6
7	山洋電気	3.6
8	共立メンテナンス	3.2
9	上村工業	3.2
10	イー・ギャランティ	3.1
組入銘柄数		33銘柄

■資産別配分



■国・地域別配分



■通貨別配分



・投資比率は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価額の比率です。

・資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価額の比率です。

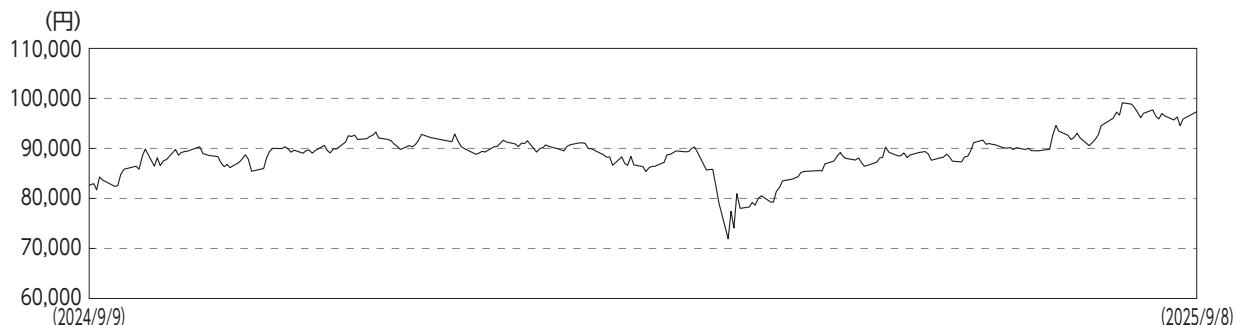
11. スパークス・長期厳選・日本株ファンド〈適格機関投資家限定〉

投資信託協会分類	追加型投信／国内／株式
ファンド形態	通貨：日本円／ファンド籍：日本(適格機関投資家限定)
ファンドの目的 (基本方針)	当ファンドは、信託財産の中長期的な成長を目標に積極的な運用を行います。
主な投資対象・制限	<p>わが国の株式を主要投資対象とします。</p> <p>①株式への投資割合には制限を設けません。</p> <p>②外貨建資産への投資は行いません。</p>
投資態度	<p>①わが国の金融商品取引所(金融商品取引法第2条第16項に規定する金融商品取引所をいいます。)に上場している株式の中から、ベンチマークや業種にとらわれず、魅力的と判断した銘柄に集中的に投資を行うことを基本とします。</p> <p>②ファンドの資金動向や市況動向等に急激な変化が生じたとき、ならびに残存元本が運用に支障をきたす水準になったとき等やむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。</p>
収益分配方針	原則として分配は行いません。
信託期間	無期限
委託会社	スパークス・アセット・マネジメント株式会社
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
設定日	2011年9月9日
決算日	毎年9月8日（年1回、休業日の場合は翌営業日）

(2025年9月8日現在)

11. スパークス・長期厳選・日本株ファンド〈適格機関投資家限定〉

■基準価額の推移



■1万口当たりの費用明細

(2024年9月10日～2025年9月8日)

項目	金額	比率
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	786円 (758) (-) (28)	0.88% (0.85) (-) (0.03)
(b) 売買委託手数料	22	0.03
(c) その他費用	3	0.00
合計	811	0.91
期中の平均基準価額は89,562円です。		

・期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

・その他費用は、監査費用です。

・各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

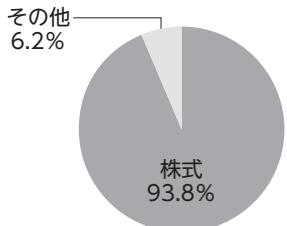
・各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点第2位未満は四捨五入しております。

■組入上位10銘柄

(2025年9月8日現在)

	銘柄名称	投資比率 (%)
1	オリックス	9.9
2	セブン&アイ・ホールディングス	9.8
3	ソニーグループ	9.2
4	ソフトバンクグループ	8.0
5	三菱UFJフィナンシャル・グループ	7.6
6	日立製作所	7.3
7	東京海上ホールディングス	6.8
8	リクルートホールディングス	5.2
9	三菱商事	3.6
10	SOMPOホールディングス	3.0
組入銘柄数		23銘柄

■資産別配分



■国・地域別配分



■通貨別配分



・資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、ファンドの純資産総額に対する評価額の比率です。

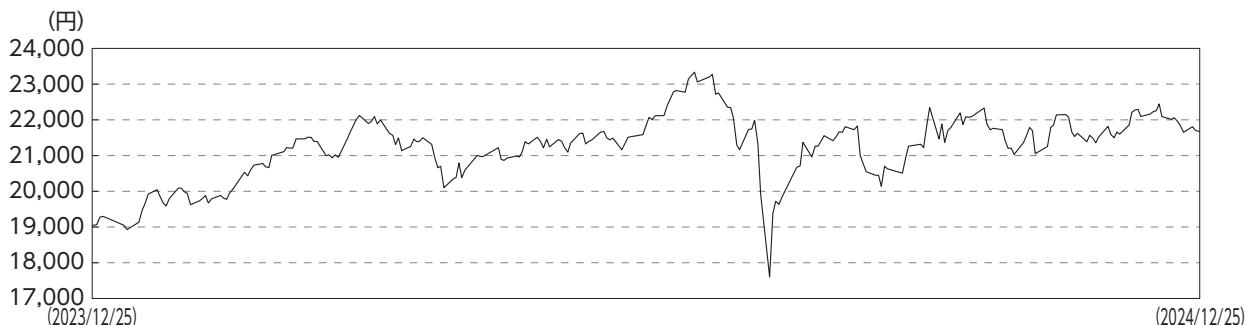
12. コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)

投資信託協会分類	追加型投信／国内／株式
ファンド形態	通貨：日本円／ファンド籍：日本(適格機関投資家限定)
ファンドの目的 (基本方針)	当ファンドは、信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、積極的な運用を行うものです。
主な投資対象・制限	「コムジェスト日本株式マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とします。 株式への実質投資割合には制限を設けません。
投資態度	<p>①当ファンドはファミリーファンド方式により「コムジェスト日本株式マザーファンド」(以下「マザーファンド」といいます。)への投資を通して、日本株式に投資し、中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。</p> <p>②マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本としますが、相場環境によってはマザーファンドの組入比率の調整を行います。</p> <p>③有価証券先物取引等は行いません。</p> <p>④有価証券の貸付は行いません。</p> <p>⑤当ファンドの運用を行うコムジェスト・アセットマネジメントは、マザーファンドの運用の指図に関する権限をコムジェスト・エス・エー社に委託しています。また、コムジェスト・エス・エー社は当ファンドの運用に当たり、当社から日本市場に上場する企業が発行する株式および新株予約権、不動産投資信託にかかる投資助言を受領します。</p>
収益分配方針	毎決算時に、収益分配方針に基づき収益分配を行います。収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。
信託期間	無期限
委託会社	コムジェスト・アセットマネジメント株式会社
受託会社	野村信託銀行株式会社
設定日	2016年3月10日
決算日	毎年12月25日（年1回、休業日の場合は翌営業日）

(2024年12月25日現在)

12. コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)

■基準価額の推移



■1万口当たりの費用明細

(2023年12月26日～2024年12月25日)

項目	金額	比率
(a) 信託報酬 (投信会社)	182円 (117)	0.86% (0.55)
(販売会社)	(59)	(0.28)
(受託会社)	(7)	(0.03)
(b) 売買委託手数料 (株式)	8 (8)	0.04 (0.04)
(c) その他の費用 (監査費用) (その他の)	1 (1) (0)	0.00 (0.00) (0.00)
合計	191	0.90
期中の平均基準価額は21,281円です。		

- 各期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率

- 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

- 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用額(円未満の端数を含む)を各期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点第2位未満は四捨五入しております。

■組入資産の明細

(2024年12月25日現在)

	当期末
コムジェスト日本株式マザーファンド	99.6%
組入銘柄数	1銘柄

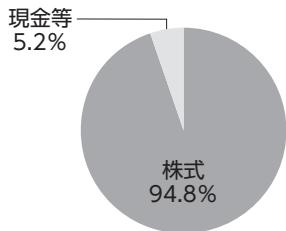
<ご参考> コムジェスト日本株式マザーファンド

■組入上位10銘柄

(2024年12月25日現在)

	銘柄名称	投資比率 (%)
1	ファーストリテイリング	4.1
2	三菱重工業	3.9
3	ソニーグループ	3.9
4	日立製作所	3.7
5	デクセリアルズ	3.7
6	ダイワク	3.6
7	第一生命ホールディングス	3.4
8	HOYA	3.4
9	アシックス	3.3
10	オービック	3.3
組入銘柄数		37銘柄

■資産別配分



■国・地域別配分



■通貨別配分



・投資比率は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価金額の比率です。

・資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価金額の比率です。

・国・地域は、コムジェスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。

- ・作成時点において、入手可能な各ファンドの直前計算期間の年次報告書をもとに作成しております。
- ・特に指定がない場合、投資比率はファンドの純資産総額に対する当該資産の評価金額の比率です。
- ・単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

- ・MSCIジャパン・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、日本の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他的一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・MSCIヨーロッパ・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、ヨーロッパの先進国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他的一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・MSCIアジア・パシフィック・エックスジャパン・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、太平洋地域の先進国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他的一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、世界の新興国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他的一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、先進国と新興国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他的一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・ブルームバーグ・グローバル国債：日本インデックスは、日本国債で構成されるインデックスです(為替ヘッジなし)。
- ・ブルームバーグ・グローバル国債：G7インデックスは、米国、カナダ、日本、イギリス、ドイツ、フランス、イタリアの国債で構成されるインデックスです(為替ヘッジなし)。
- ・ブルームバーグ新興市場自国通貨建て国債インデックスは、中国、韓国、インドネシア、マレーシアなど新興国の自国通貨建て国債で構成されるインデックスです(為替ヘッジなし)。
- ・S&P500はS&Pダウ・ジョーンズ・インデックス(S&PDJI)の商品です。この指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、S&PDJIに帰属します。S&PDJIは当指数等の情報に関し、その正確性・妥当性・完全性あるいは入手可能性を保証しません。また、S&PDJIは当指数等の情報の誤り、欠落についてその理由のいかんにかかわらず責任を負いません。また当指数等の使用による結果に対しても責任を負うものではありません。S&PDJIは当指数等の商品性あるいはその使用または特定の目的に対する適合性を含みますが、それに限定されるわけではなく、一切の明示的あるいは黙示的な保証を否認します。S&PDJIはファンドの受益者や他の人物等による当指数等の使用に関連したいかなる間接的、直接的な、特別なあるいは派生的な損害、費用、訴訟費用あるいは損失(収入の損失、利益の損失、機会費用を含む)について一切の責任を負いません。

本書では、各投資対象ファンドを以下通りに省略して記載することができますのでご了承ください。

バ ン ガ ー ド	米 国 オ ポ チ ュ ニ テ ィ フ ア ン ド	→ 米国オポチュニティ
アライアンス・バーンスタン SICAV-コンセントレイティッドUSエクイティ・ポートフォリオ	→ AB米国株式集中	
BBH・ルクセンブルグ・ファンズ-BBH・コア・セレクト	→ BBH・コア・セレクト	
FSSAア ジ ア ・ パ シ フ イ ッ ク 株 式 フ ァ ン ド	→ FSSAアジア	
フォントベル・ファンド-mtxエマージング・マーケット・リーダーズ	→ Vontobel mtx エマージング	
スチュワート・インベスターーズ・グローバル・エマージング・マーケッツ・オールキャップ・ファンド	→ SIGローバルエマージング	
フォントベル・ファンド-USエクイティーオリティ・グロース	→ Vontobel 米国株式	
コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80(適格機関投資家限定)	→ コムジェスト・ヨーロッパ	
コムジェスト・エマージングマーケッツ・ファンド90(適格機関投資家限定)	→ コムジェスト・エマージング	
スパークス・集中投資・日本株ファンドS<適格機関投資家限定>	→ スパークス・集中投資	
スパークス・長期厳選・日本株ファンド<適格機関投資家限定>	→ スパークス・長期厳選	
コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)	→ コムジェスト日本株式	

「R & I ファンド大賞」は、R & I が信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につき R & I が保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR & I に帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

LSEG リッパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。選定に際しては、「Lipper Leader Rating(リッパー・リーダー・レーティング)システム」の中の「コンシスタンント・リターン(収益一貫性)」を用い、評価期間3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタンント・リターンが最も高いファンドにLSEG リッパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、lipperfundawards.comをご覧ください。LSEG Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。